

わたしの議会。



1月18日に加茂小学校6年生の皆さんとTOBAミライトークを行いました。

鳥羽市議会各種SNS



とば市議会だより 目次

10月31日議会報告	2	一般質問	5～11
常任委員会報告	3～4	議長定例記者会見の実施について	11
議員別表決結果	4	きらり輝く人達	12

議会報告

10月31日に「令和4年度鳥羽市一般会計補正予算（第7号）」の議案1件を審議しました。

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第33号 令和4年度鳥羽市一般会計補正予算（第7号）

＜主な補正予算の内容と質疑応答＞

● 三重県鉄道網整備促進事業（物価高騰等の影響を受けている伊勢鉄道の安定的な運行体制の確保を図るため、三重県及び関係市町で連携し、運行支援を行うための費用を補正）
 ……219万円

問 三重県鉄道網整備促進事業における全体での総支援額はいくらか、また鳥羽市の219万円の負担は全体の何%になるのか。
 答 総支援額は8550万円で鳥羽市の負担割合は2.56%である。

● 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業（物価高騰等に直面している低所得世帯（住民税非課税世帯等）の負担軽減を図るため、緊急支援給付金を給付するための費用を補正）
 ……1億5461万8000円

問 対象世帯は3000世帯を見込んでいるが、プッシュ型は何世帯で申請型は何世帯か。
 答 プッシュ型で2700世帯、家計急変世帯で300世帯を見込んでいる。

● 市災害見舞弔慰金支給事業（新型コロナウイルス感染症のり患者への見舞金等の給付に必要な費用を補正）
 ……1600万円

問 市災害見舞弔慰金支援事業についての申請方法について。
 答 これまでのように保健所からの連絡はないので市広報誌やHPでの情報発信に力を入れていきたい。

感染者支援	見舞金	臨時生活支援金
対象者	鳥羽市に住民登録があり、現に鳥羽市にお住まいの方でPCR検査で陽性となった方	
支給額	令和4年12月31日までに陽性と診断された感染者1人につき1万円	令和4年9月11日までに陽性と診断された感染者1人につき1万円
申請期限	令和5年3月31日まで（郵送の場合は3月31日必着）	

詳細については健康福祉課生活支援係のホームページをご確認ください。（左記QRコードよりご覧いただけます）



令和4年10月31日会議

議員別表決結果

○：賛成 ×：反対
 -：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村敦	河村孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	坂倉紀男
33	令和4年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)	10月31日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき採決なし	○	○	○	○	○

令和4年度鳥羽市一般会計補正予算（第8号）ほか、鳥羽市公共施設等管理適正化基金条例の制定についてなど、執行部提案議案22件を審議しました。

常任委員会報告

● 各常任委員会に21議案が付託されました。

行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第43号 鳥羽市分課組織条例の一部改正について

行政改革大綱の取組みの一環として、分課組織の再編成を行うため所要の改正を行う。

〈主な内容〉

- ・課名及び分掌する事務を変更する
- ・施行期日…令和5年4月1日

改正前	改正後
観光課	観光商工課
農水商工課	農林水産課

問 今回、戻す形に近い格好になるが、関係団体との調整はできているのか。

答 今回、コロナ関係の事務において、商工と観光が結びつく事業がたくさんあり、特に商工会議所との連携の動きがあった関係もあり、組織を動かしたことから、課の名前も改名したという流れになっている。

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第34号 令和4年度 鳥羽市一般会計補正予算（第8号）

〈主な補正予算の内容と質疑応答〉

- 海洋ごみ流出対策事業（実効性のある海洋ごみ流出抑制対策につなげるため、市内の道路ごみの状況と清掃活動を調査する費用を補正）

…201万3000円

問 ごみの状況や実施期間はどのようになっているか。

答 企業版ふるさと納税を財源として実施するもので、初期投資を含めた事業費となっており、数年かけて事業を実施していく。

- 水産研究所維持管理業務（「ブルーカーボン貯留量の自動計測システムの開発による漁村の脱炭素・収益向上に向けて取組」研究の実施に必要な経費を補正）

…177万6000円

問 ブルーカーボンの計測は、養殖の部

分ではなく、天然の部分か。

答 天然藻場を中心に養殖藻場も行う。

問 鳥羽市全域の調査を行うのか。

答 研究期間内は、調査箇所を選んで実施する。

- 地域のしごと魅力発信事業（宿泊施設で働く就労者の業務内容の実態を把握し、新たな業務分解や学生等に宿泊施設での就労イメージを持ってもらうための調査費用を補正）

…101万9000円

問 地域のしごと魅力発信事業はどのように実施するのか。

答 宿泊施設で働きたい人へのPRのための調査と、今働いている人の人手不足を感じている部分の調査を行い、業務分解によりそこへの補填を検討したい。

問 調査対象は経営者側か。

答 就労者にアンケートを取り、さらに経営者に労働環境と福利厚生について聞きたい。

- 就学援助事業（経済的理由により就学することに支障をきたしている児童の家庭に援助している通学費や学用品費等の不足が見込まれることか

ら必要な経費を補正)

：53万9000円(小学校費)
77万6000円(中学校費)

問 就学援助事業は対象者が増加したのか。

答 新入学児童生徒学用品費の早期支給分について申請者が増えるの見込んでいる。

議案第54号 令和4年度鳥羽市一般会計補正予算(第9号)

10款災害復旧費

問 年度内に完了は見込めないとのことであるがどのあたりまでの進捗を予定しているのか。

答 市道第二大廻り線の測量・分筆は年度内の完了を見込み、工事については年度が替わってからの実施になる。また、河川については真菰川は年度明けの工事となるが、その他の川は年度内に少しずつでも着手したい。

人事

教育委員会委員の任命に同意

中村 和久 氏

令和4年11月30日～12月19日会議

議員別表決結果

○：賛成 ×：反対
-：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村 敦	河村 孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上 健	浜口一利	坂倉広子	坂倉紀男	世古安秀
34	令和4年度鳥羽市一般会計補正予算(第8号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	議長につき採決なし	○	○	○	○	○
35	令和4年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
36	令和4年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
37	令和4年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
38	令和4年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
39	令和4年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
40	令和4年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
41	鳥羽市公共施設等管理適正化基金条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
42	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
43	鳥羽市分課組織条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
44	鳥羽市印鑑条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
45	鳥羽市職員の定年等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
46	鳥羽市職員給与条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
47	鳥羽市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
48	鳥羽市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
49	鳥羽市ふるさと創生基金条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
50	訴訟上の和解について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
51	三重県市町総合事務組合規約の変更に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
52	鳥羽志勢広域連合の処理する事務の変更及び規約の変更に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-		○	○	○	○	○
53	教育委員会委員の任命について		12月 9日	同意	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
54	令和4年度鳥羽市一般会計補正予算(第9号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
55	鳥羽市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	

これが聞きたい・ここが聞きたい

一 般 質 問



12月6日～12月8日に11人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
12月6日(火)	坂倉広子	子ども・子育て支援の拡充について 公共施設におけるサンタリーボックスの設置について 带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について
	戸上 健	生活困窮から市民の暮らしを守るために 人口減少と高齢者対策の強化策について インボイス制度について 会計年度任用職員について
	坂倉紀男	鳥羽市における森林環境創造事業について
	浜口一利	気候変動を踏まえた水災害対策について
12月7日(水)	濱口正久	地域共生社会実現のための「つながる」について
	南川則之	鳥羽市清掃センターの活用計画について 鳥羽市リサイクルパークの今後の方向性について
	河村 孝	第六次鳥羽市総合計画実施計画(大規模ハード分)について 都市計画税のこれまでの経緯及び今後について
	瀬崎伸一	地域共生社会の実現に向けた獣害対策の拡充について
12月8日(木)	奥村 敦	本市におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)推進について
	山本哲也	「鳥羽の日」を活用した地域活性化について
	世古安秀	ふるさと納税の推進強化策について 佐田浜及び鳥羽駅周辺の駐車場不足対策について 相差池中地区の冠水対策について

保育所での使用済み紙おむつからの感染防止対策は



坂倉広子

健康福祉課副参事

ガイドラインに沿った感染対策をしている

問 保健衛生管理の向上、保護者の負担軽減等につながることから、保育所において紙おむつを公費で支給する考えはないでしょうか。

答 健康福祉課副参事 保育所からの紙おむつの支給については、保育所に通所させずご家庭で保育されている保護者との公平性の観点から、現時点で支給する考えはございません。

問 子育てしやすいまちとして、もう少し配慮をお願いしたいと思います。新型コロナウイルスやノロウイルス、RSウイルス等、保育所での感染防止対策は喫緊の課題です。使用済み紙おむつからの感染防止対策はどうなっていますか。

答 健康福祉課副参事 厚生労働省が策定したガイドラインに沿ったおむつ交換により、保育士の感染症対策としています。



問 使用済み紙おむつの持ち帰りを禁止できないでしょうか。近隣市町でも既に実施をしています。公費負担での園内処理導入について、子育て支援の観点から市長のご所見を伺います。

答 市長 使用済み紙おむつを園内処理するメリットのほうが多いという気がいたします。一方、近隣の市町を含め、既に半分近くの県内市町が園内処理をしていますので、改めて財政負担と運用上の課題を整理をして、実現に向けて前向きに考えたいと思います。

学校給食の無償化をやる意思是



戸上健

市長

全員にというのは私の選択肢にない

問 子育て世代が、今、生活困窮で悲鳴を上げています。給食費を無償化してやるべきではありませんか。

答 市長 経済的な理由により支援が必要な世帯、市内小・中学生の約2割になります。そういった方には就学援助費による給食費の全額支給を実施しています。

問 中村市政が続く限り学校給食の無償化、限定的軽減、これはやらないのか。それが、財政的やいろんなことで条件があればやるのか、どちらですか。

答 市長 給食費を無償にするということは、これからまずつとやり続けるというところで大きな決断になりますので、非常に慎重になっているところで、これからやるか、ずっとやらないかどうかというのは、そのときの社会状況等によりしますので、全くやらないというわけではございません。

問 学校給食の無償化を限定的であったとしても、やる意思はないという理解でよろしいですか。

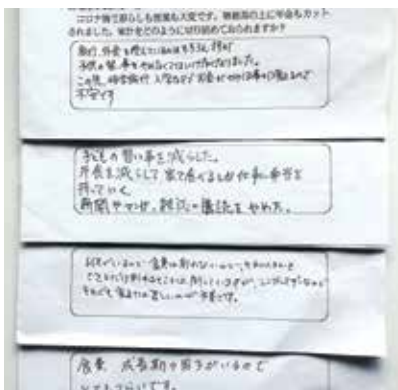
集落支援員の募集と配置を

市長

地域の状況を十分検証した上で考えていきたい

問 集落支援員について、高齢者支援を切望している地域へ内外から心ある支援員を募集して、ぜひ配置してほしいと思いますが、市長のご所見いかがでしょうか。

答 市長 集落支援員の配置については、地域の状況を十分検証した上で考えていきたいと思います。



市民アンケートに寄せられた声

森林環境創造事業の進捗は



坂倉紀男

農水商工課長

進捗は順調で、 目標とする森林の 状態に近づいている

問 森林は、水源の涵養※や土砂災害の防止、さらに地球温暖化防止のほか野生鳥獣の生息の場や、人々の心のやすらぎの場の提供など「公益的機能」を持っています。森林環境創造事業の進捗と、市長の考えをお聞かせください。

答 農水商工課長 船津地区環境林整備計画において目標とする森林の状態を明記し、天然林は多用な広葉樹林を目指し、生産林は混在森林を目指しています。今年度で協定締結後16年度目となっていますが、進捗は順調で、間伐の実施を中心に目標とする森林の状態に近づいています。

答 市長 これから取り組む間伐作業には一定の経費が掛かると分かっています。森林環境創造事業については、「公益的機能の向上」という提案は例えば森林に親しみやすくなる空間づくりなど、「地域共

生社会」の観点からも地区所有者のご理解の下、関与して頂ければと考えているところです。

坂倉紀男議員 夢と希望のある答弁をいただきました。地域共生社会の成功を私自身も確信したいと思っていますので、この大自然を行政力、財政力で何とか立ち直っていくようお願いいたします。

※涵養とは：しぜんに養成していくこと。育成。



本市の近年の気候状況は



浜口一利

総務課副参事

浦村で1時間降水量 140ミリを観測した

問 豪雨の頻発化、激甚化による災害は私たちの近くで突発的に起こり得るものとなってきています。本市の近年の気候状況をお聞きます。

答 総務課副参事 浦村で昨年8月17日に本市の歴代1位となる1時間降水量140ミリを観測しています。

問 9月23日は、短時間で急激に水かさが増え、避難する事も出来ませんでした。生活に密着した場での災害で、以前から浸水してくる、裏山から石が流れてくるなど土砂崩れの心配があり改善の要望も多かったと思います。こまめに対応する事が大切ですが、何年も同じ状態で改善されませんか。方策はないのかお聞きます。

答 建設課長 幹線水路は補助の対象となりますが、側溝などは市単独費で進めなければなりません。流入水量を考慮した改修計画を検討していきたいと思えます。



生活道路に水が流れる様子

問 側溝を豪雨対策排水路として機能を高めてほしい。また、道路の劣化も激しい状況です。そのような箇所が多いが既存の予算枠での維持は厳しいのではないのか。自然も街並みも美しい鳥羽であってほしいです。市長はどのような感覚でいるのか、お聞きます。

答 市長 市民の皆様とも知恵と工夫を出し合いながら、かつ持続可能で美しい鳥羽市を目指していきたいと思っています。

中学校の部活動の地域移行の考えは

教育長

部活動の選択肢を確保し、子どもたちの選択肢を狭めない

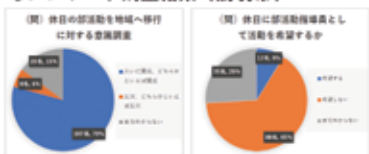
問 部活動の地域移行のスケジュールはどうなっていますか。

答 生涯学習課長 令和5年度から令和7年度末の3年間を改革集中期間として位置づけています。

問 鳥羽市の子どもたちの部活動の在り方、地域移行の受け皿をどうしていくお考えですか。

答 教育長 鳥羽市としては、部活動の選択肢を確保し、子どもたちの選択肢を狭めない方向を持っています。そのため、コーディネート、外部指導員の配置というところで、今進んでいるところです。

休日の部活動の段階的な地域移行の係わるアンケート調査結果（鳥羽市）



部活動の地域移行に関するアンケート結果

地域共生社会の実現に向けた市長の思いは



濱口正久

つながる施策を推進し、市民を支援していきたい

問 まちトークの内容と現在の状況についてお尋ねします。

答 健康福祉課長 まちの未来について話し合うワークショップで、これまで25を超える地域で住民同士が情報共有する機会をつくり、まちの資源や課題の再発見、地域内での顔の見えるつながりの強化、担い手の発掘、支え合う関係の構築等について話し合われてきました。

問 地域共生社会の実現に向けて、「つながる」にかける市長の思いをお聞きます。

答 市長 人と人を含めた様々なつながりが重要な要素であり、つながりの中で居場所を見出して、居場所の中で役割を見つけていくものだと思います。今後、市民の動きを支援していきたいと思っています。

鳥羽市清掃センターの焼却処理施設解体撤去工事は

市長

地元協議を重ね、他事業のバランスを見ながら進めていく

問 鳥羽市清掃センター協議会で、最終処分場の廃止及び施設の解体計画と跡地利用計画の方向性についてどのように説明していますか。

答 副市長 最終処分場の廃止については技術基準が環境省から出ていますので、それに適合する形で閉鎖していくよう順次整備を進め、焼却施設の跡地利用については解体後に資源循環型の構築に資する施設の整備の検討をすると説明しています。

問 平成26年4月から焼却炉の稼働を終了し、外観的にも煙突部分の老朽化、焼却施設建屋の雨漏り、焼却炉本体部分の有害物質の汚染状況も心配されます。この焼却処理施設の解体撤去工事を政策的にどのように実施していきますか。

答 市長 議員が言われたような懸念は持っているところです。実施計画には位置づけていますので、地元協議を重ね、今後の他事業のバランスも見ながら進めていきます。

リサイクルパークの2か所目づくりの考えは



南川則之

場所、ニーズ、人材もあれば広げていくことはやぶさかではない

問 鳥羽市リサイクルパークは、国内外からも多くの方々に視察、研修に来ていただき、ごみの減量化とリサイクルを通じた市民の交流の場となっています。鳥羽市リサイクルパークを広め、さらに2か所目づくりをしていく考えはないですか。

答 市長 地域で場所もあり、ニーズと人材もあれば広げていくことはやぶさかではないです。



平成26年4月に稼働終了し解体撤去が必要な焼却処理施設

県内における訓練塔の整備状況は



河村孝

消防長

訓練塔を有しないのは鳥羽市のみである

問 県内における訓練塔の整備状況はどうなっていますか。

答 消防長 県下15消防本部のうち訓練塔を有しないのは鳥羽市のみという状況です。

問 令和8年度の整備予定を前倒ししてやるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

答 市長 財政上のことはもちろんありますが、一日でも早く進められるように指示をしたいと思っています。

都市計画税について市長の考えは

市長

なくてはならない財源である

問 基金が3億6000万円、毎年の税収が1億2000万円程度。事業規模に対して財政的に非常に厳しい状況と思いますが、都市計画税について市長はどのようにお考えですか。

今後取り組んでいくべき獣害対策は



瀬崎伸一

市長

既にされている地域の事例を紹介しつつ、支援できたらと思っています

問 有害獣捕獲報償金において、小動物は1頭1000円となっています。拡充はできませんか。

答 農水商工課長 有害獣捕獲報償金については、小動物は住民生活に一番近い所に入り込んでくる不気味さもあり、また狩猟者にとって定期的なわなの見回りや捕獲時の止め刺し処分等を考えると、少額というふうに感じます。近隣市町の状況も踏まえ、報償金単価の増額について検討していきたいと考えています。

問 獣害対策の役割分担を考えると、地域の住民に主人公になっていただくかなくてはいけないと思いますが、市行政も適宜なすべきことをなす必要があると思います。今後取り組んでいくべき獣害対策について、市長のご所見をお伺いします。

答 市長 今回は地域共生の観点からの



農地に出没したサル

獣害対策という事で、目先の獣害を減らすのからは、少し遠回りになりますが、そういう対策ができる地域を作っていくという事が、獣害に関わらず、これからの人口減少社会にはとても大事だと思います。既にされている地域の事例を紹介しつつ、支援できたらと思っています。

自治体DX推進計画について どのように考えているか



奥村 敦

総務課長

実効性のある

DX推進計画の策定に 着手していきたい

問 DX※推進のための人材確保及び育成について、現状の考え方についてお聞きします。

答 総務課長 組織体制を構築する時期とも整合を図りながら、人材確保については十分検討し、進めていきたいというふうに考えております。また、職員の育成につきましては、職員に過度の負担とならないよう十分配慮した上で、効率的な推進を図られるよう、研修等も含めて進めていきたいというふうに考えております。

問 自治体DX推進計画について、現場の実態を踏まえたスケジュールをどのようにお考えであるかをお聞きします。

答 総務課長 県内外の他の市町などのDX推進計画のほうを参考にしつつ、身の丈に合った実効性のあるDX推進計画の策定に着手をしていき

たいというふうに考えております。

問 デジタル化による地域の活性化について市長にお聞きします。

答 市長 高齢者、あるいは弱者の方々の情報格差の対策は、特に高齢者の方において必要と推測をされております。DXを推進する上で取り組んでいく必要があると私も思っております。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）とは…最新のデジタル技術を駆使した、デジタル化時代に対応するための企業の変革。



奥村 敦 議員

総務課長
濱口博也

「鳥羽の日」条例化を どのように考えているか



山本 哲也

市長

議会側と

一緒になって 議論させていただく

問 記念日協会に申請し、登録することで、鳥羽市として10月8日を「鳥羽の日」として捉え、様々な取組に活用できるように思いますが、その辺りはいかがでしょうか。

答 農水商工課長 市として取り組んだことのない手法となりますが、効果として、テレビ番組等で全国に紹介されたりすることもあるかと思えます。認知度が高まるなどのメリットがあるとされていますので、検討させていただきますと思います。

問 「鳥羽の日」条例化についてはどのようにお考えでしょうか。

答 市長 思いを込めるという意味では、決して価値がないわけではないと思っています。そして、私どもが条例制定するのがありますが、議会側で発議をされてというのも一歩かなと思っていますので、一緒になって議論させていただきます。

山本哲也議員 必ず年に1回は、10月8日はやってきます。ぜひうまく活用していただき、10月8日は「鳥羽の日」、10月は「鳥羽の月」だということが一人でも多くの方に知っていただけるよう、また、この「鳥羽の日」の一日、「鳥羽の月」を誇りに持てるような、そういった一日にできるように、市の積極的な支援、事業の展開をお願いします。



鳥羽の日のパンフレット

ふるさと納税倍増の目標は



世古安秀

市長

常に増やす努力はしており、貪欲に考えたい

問 自主財源の確保のためにふるさと納税事業に力を入れるべきです。これまでのふるさと納税の実績をお伺いします。

答 企画財政課副参事 令和3年度が1万2022件で7億5722万5000円となっており、過去最高額の寄附額です。
問 返礼品に電子クーポンを発行する制度の導入状況はどうなっていますか。

答 企画財政課副参事 令和2年11月からふるさと納税払いチョイスPAYを開始しています。また、PAY商品券を追加導入に向けて調整も始めています。

問 ふるさと納税倍増を目標に、夢のある事業を進めていくという考えはありますか。

答 市長 倍増がいいのか、3倍がいいのかは別として、常に増やす努力はしており、貪欲に考えたいと思います。

相差町池中地区の今後の冠水対策は

市長

排水ポンプパッケージの導入を令和6年度に位置づけている

問 令和4年中に相差町池中地区は3度にわたり冠水をしました。住民は度々の被害に困り果てています。今後の対策をどのようにお考えですか。

答 市長 1分間に10³m³の排水能力を有するポンプ、ホース、照明灯がセットになった排水ポンプパッケージの導入を令和6年度に位置づけています。ただし、運用面等の課題も検討し、効果的な排水手法を最終決定していくべきと考えており、令和5年度に調査業務を実施するよう指示をしました。



令和4年11月23日の豪雨で冠水した池中地区の状況

議長定例記者会見の実施について

今年度第3回目となる議長定例記者会見は、12月19日(月)議会終了後に行われました。

【記者会見内容】

- 1、議長あいさつ
- 2、12月議会の振り返り
(1) 議決の状況
- 3、今後の議会運営について
- 4、議長の一言
- 5、質疑応答



次回は3月議会終了後に実施予定です。



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画です。

プロフィール

三重県警察機動隊巡查部長

やました ゆうすけ
山下 雄輔 さん

2022年11月、日本武道館で開かれた「全日本剣道選手権大会」に出場し、ベスト8入りを果たした。

答志島出身。小学一年生の時に地元の道場（答志剣道スポーツ少年団）で剣道を始める。高校は強豪校である三重高等学校に進学し、三年生の時に東海大会三位入賞。全国高校総体や国民体育大会にも出場した。

大学卒業後は県警の試験を受け、2011年に採用。翌年から剣道の特別訓練員に指名される。ほぼ毎日剣道の稽古に打ち込む傍ら、機動隊員として伊勢志摩サミットの警備を担当したほか、災害現場での救助活動などに携わっている。

「山下さんが三重県警察を志した動機を教えてください。」

生まれ育った三重県が好きで、三重県のために何か役に立てる仕事がしたいという思いと、レベルの高い警察剣道の世界で剣道を続け、日本一を目指したいという思いがあって、三重県警察を志望しました。

「山下さんは剣道のどんなところに魅力を感じますか。」

「人間力」が得られること、これが剣道の最大の魅力だと思います。この「人間力」の中には「思いやり、義理、礼儀、知識、誠実」等、人が生きていく上で大切にしなければならぬ要素が含まれており、自分を成長させるために必要不可欠だと考えています。

「最後に、山下さんの鳥羽市への思いをお聞かせください。」

剣道に関するのですが、鳥羽剣道協会の先生方には大変お世話になっており、感謝の気持ちでいっぱいです。今後、鳥羽から全日本剣道選手権に出場する選手が誕生することを願って、私でもできる限りの協力、応援はしていきたいと思っています。

編集後記

明けましておめでとうございます。わたしの議会。(とば市議会だより) 第182号をお届けします。

表紙でご報告のとおり、1月18日に加茂小学校6年生の皆さんと、TOBAミライトークを実施しました。約2時間にわたって、「鳥羽の森を守るために何ができるか」というテーマについて話し合いを行いました。

今回のミライトークが、これからの未来を担う子どもたちに政治に興味を持っていただくきっかけとなり、将来どのような街にしたいのかを考えるための一助となれば幸いです。また、今後もこういった取組を通して、議会が鳥羽の小学生と関わり合う機会を持てたらと思います。

記 坂倉 広子

広報広聴委員会	委員長	奥村 敦
	副委員長	山本哲也
	委員	濱口正久
	委員	瀬崎伸一
	委員	河村 孝
	委員	木下順一
	委員	坂倉 広子